

「情報公開文書」

多機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

この臨床研究のデータを別の目的の研究に二次的に利用する場合があります。その際は新たに研究計画書を作成し、別途臨床研究審査委員会の承認を受けて実施します。その場合もあなた個人を識別できるような情報が漏れることはありません。

【研究課題名】脳卒中レジストリを用いた我が国の脳卒中診療実態の把握

1. 研究の対象

2022年10月11日から 2026年3月31日までの間に、当院で脳卒中に対する入院加療を受けられた方

2. 研究目的・方法

目的 脳卒中の患者さんにおける、血管障害の原因や、治療内容、治療経過、またその要因を検討するために、脳卒中で入院加療を受けられた患者さんを対象としたレジストリを構築して、患者さんの治療や治療経過の実態の把握、予後に寄与する因子の検討を行います。

方法 この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・診療情報等：性別、生年月、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、家族歴、介護保険情報、来院方法、入院前内服薬、発症状況、発症から来院までの時間、発症時症状、入院日、診断名、診察所見、画像所見、血液検査所見、治療内容（手術、投薬、リハビリ）、退院日、生存状況（退院時、90日後、1年後）、脳卒中後遺症度（modified Rankin Scale: 退院時、90日後、1

年後)、Covid-19の感染有無等

4. 研究組織

共同研究機関および研究責任者名

国立循環器病研究センター 脳血管内科 豊田 一則 ほか

日本脳卒中データバンク参加施設 131 施設

日本脳卒中データバンク公式ホームページ (<http://strokedatabank.ncvc.go.jp/link/>を参照)

5. 情報の提供先・提供方法

上記の試料・診療情報等を脳卒中中の診療実態を把握し医療の質の向上に役立てるために、研究代表施設へ電子的配信にて提供します。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 (電話：代表 0463-93-1121 内線：2240)

研究責任者 脳神経内科 永田 栄一郎

問い合わせ担当者 脳神経内科 安部 貴人

-----以上